

古文書修復実習の募集

2024年度古文書修復実習のご案内をいたします。参加ご希望の方は、申し込みFormに必要事項をご記入の上、お申し込みください。

今回の古文書修復実習では、修復の基本となる①記録・解体→②修理(繕い・裏打ち)→③復原(化粧裁ち・製本)の3工程と、これに加えて④襖や屏風などの下張り文書の剥離作業を体験的に学んでいただきます。

「①記録・解体」は、修復前の古文書の寸法や傷み具合などを記録し、②に備えて古文書を展開・解体する工程です。併せて古文書の調査・整理・保存(現状記録や目録データベース化など)、および文化財レスキューの実例や実践的方法についても、ご説明・ご提案いたします。

「②修理」は、繕いや裏打ちなどの技術をつかって、傷んだ古文書を補修・補強します。和紙・正麩糊・刷毛など、さまざまな材料や道具を扱います。この工程では、もっとも古文書修復らしい体験ができるでしょう。

「③復原(化粧裁ち・製本)」は、裏打ちの和紙部分を整え(化粧裁ち)、製本の仕立て直しをして、もとの形にもどします。製本やこより作りの技術は、史料取扱い機関での業務や、古文書調査の際にも役立つと思います。

これら3工程に加えて、「④剥離」では、襖や屏風の下張り文書の剥離技術を体験していただきます。古い襖や屏風には古文書が下張りされており、近年、その史料価値が見直されています。

受講者は4名ずつ4つのグループに分かれ、以上の4つの工程の技術内容を、それぞれ半日ずつ実習することになります。

皆様のご参加をお待ちしております。

神奈川県立常民文化研究所

※②③の実習には擬似文書を用い、原則として原文書はつかいません。

■ 日程

2025年3月9日(日)

10:00～17:00 基本的な古文書修復技術の説明及び実習

- ①現状の記録・解体 ②修理(繕い・裏打ち)
③復原(化粧裁ち・製本) ④下張り文書の剥離の工程実習

2025年3月10日(月)

09:30～16:30 同上

16:30～17:00 反省会

■ 講師

関口 博巨 (神奈川県立常民文化研究所所員・国際日本学部歴史民俗学学科教授)

白水 智 (神奈川県立常民文化研究所客員研究員・中央学院大学教授)

山口 悟史 (神奈川県立常民文化研究所客員研究員・東京大学史料編纂所技術専門職員)

中村 慧 (杉並区生涯学習推進課文化財係)

平田 茉莉子 (神奈川県立常民文化研究所学芸員)

■ 会場 日本常民文化研究所 古文書修復室
(神奈川県立横浜キャンパス3号館地下2階)

■ 資料代 2,000円 ※資料代は当日受付でお支払い下さい。

■ 定員 16名 ※定員を超えた場合は抽選となります。

■ 申込 下記URL及びQRコードより申し込み **Formにてご応募**ください。

■ 締切 2025年1月24日(金)

※抽選を行う場合がありますので締切は厳守してください。

※抽選の結果は、2025年2月7日(金)にメールにてご連絡いたします。

- 折り返し受講票をお送りしますので、当日ご持参ください。
- 実習は2日間通しでの受講になりますのでご注意ください。
- 出張依頼状をご希望の方は、必要事項を参加申込書にご入力ください。

■ 申込先・お問合せ

URL http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/exhibition/list/28_001.html



神奈川県立常民文化研究所 古文書修復実習 係
〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL 045-481-5661(内線4358) FAX 045-413-4151
Mail jomin-komonjo28@kanagawa-u.ac.jp